Plusidea ベーシックメニュー

下地補修工事・タイル補修工事

Q どうして、下地補修が必要なの？

A 劣化してしまった部分をしっかりと直すのはもちろん、きれいな仕上げにするには、下地をきちんと整える必要があります。

コンクリートは経年劣化等により、
ひび割れが発生します。
これを放置するときれいに
仕上げることはできませんし、
雨水の浸入により、
さらに劣化が進んでしまいます。

こんなに良くなります！

Plusidea ベーシックメニュー

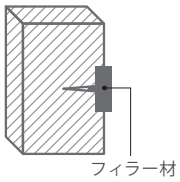
下地補修工事・タイル補修工事

外壁面に発生している故障箇所を補修し、
コンクリートの中性化・内部鉄筋の腐食を防ぎ、
さらに雨水の浸入や剥離事故を防止します。

塗装面の補修工事

小さなひび割れ

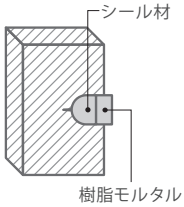
フィラー材（充てん材）をひび割れに沿って擦り込みます。



大きなひび割れ

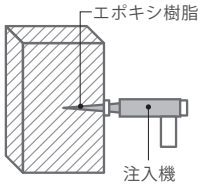
1．Uカットシール工法

ダイヤモンドカッターでひび割れに沿ってU字にカットし、シール材（防水用充てん材）を充てん。硬化後、樹脂モルタルで成形します。



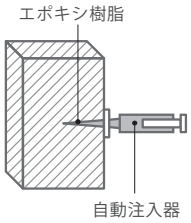
2．弾力性エポキシ樹脂注入工法

コンプレッサーの空気圧により、ひび割れに沿ってエポキシ樹脂を奥まで確実に注入。Uカットが不要で騒音や粉塵の心配がありません。



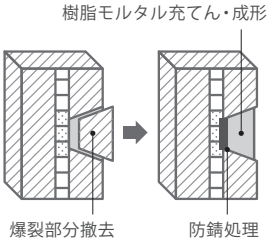
深いひび割れ（構造・貫通ひび割れ）

ひび割れに沿ってエポキシ樹脂を、自動注入器を使って低速・低圧で注入。奥まで確実に補修します。



鉄筋爆裂補修

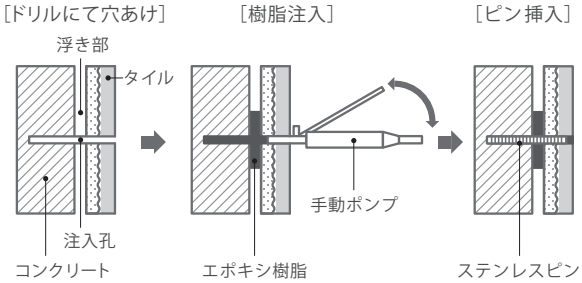
爆裂とは鉄筋がサビて膨張し、コンクリートを圧迫して表面が崩れてしまった状態のこと。爆裂部を除去し、錆止めをした後、樹脂モルタルで成形します。



タイル面の補修工事

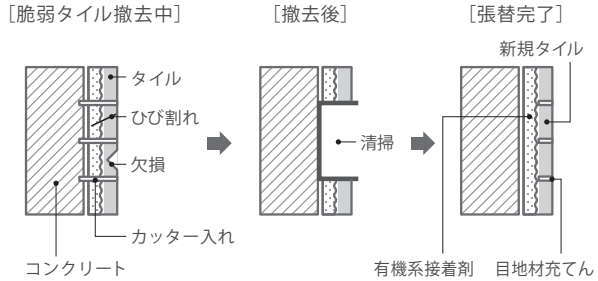
タイルの浮き補修

ステンレスのピンと接着剤を挿入してコンクリートとタイルを一体化させます。



タイル張り替え

ひび割れや欠損しているタイルを撤去し、新規にタイルを張り、目地埋めします。



※本資料は、マンションの修繕工事の一般事例の概略を掲載しています。※掲載の写真は参考事例です。実際とは異なる場合があります。
※各工事の作業内容、手順は、建物の状況、お見積り、ご契約、お打ち合わせ等により異なります。※詳細につきましては別途お問い合わせください。

お問い合わせは「くらしサポートデスク」へ
0120-264-406　受付時間／9:00～17:30（日祝日・年末年始除く）

DAIKYO